

哲學會

第五十七回研究発表大会

平成三十年十一月三日、四日

東京大学本郷キャンパス
法文二号館一番・二番大教室

第一日（十一月三日）

◇研究発表 13時～15時15分

行為者性・自己立法・承認

倫理学における直観の重要性と信頼性

ホッブズにおける人間の平等について

川瀬 和也

鈴木 貴之

伊豆藏 好美

◇ワークショップ 15時50分～17時30分（2会場）

ウィトゲンシュタインの現在

古田 徹也

大谷 弘

コーディネーター：戸田山 和久

ケアの哲学

早川 正祐

西村 ユミ

コーディネーター：榊原 哲也

第二日（十一月四日）

◇研究発表 10時～12時

Disentangle Argument 再考——ウィトゲンシュタイン的観点から

谷田 雄毅

デリダにおける様相の問題

島田 貴史

科学的実在論は経験的な主張なのか

工藤 怜之

◇シンポジウム 13時30分～17時

経験の構造——松永哲学を巡って

松永 澄夫 野矢 茂樹 古荘 真敬

司会：鈴木 泉



<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/philosophy/index.html>

非会員の方は参加費 500 円にて聴講いただけます。

バリアフリー支援が必要な方は、事前に下記連絡先までご連絡ください。

doxa@l.u-tokyo.ac.jp 文学部・人文社会系研究科 哲学研究室